

2021年7月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

6月、製造業の業況は拡大が進むも勢いは緩やか

主な動向

生産高と新規受注数の増加率は直近5か月で最も小幅

購買価格の上昇、勢いは過去10年超で最も大幅

景況感、調査史上最高値を記録

2021年6月のデータ収集期間: 2021年6月11日～23日。

第2四半期末、日本の製造業の業況はさらに改善が進んだ。一方、6月の生産高と新規受注数は5か月連続の増加となったが、COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) に対する各種制限措置とサプライチェーンにかかる圧力が事業活動に影響し、共に勢いは減速した。サプライヤー納期の長期化が引き続き製造業に負担をかけているため、購買価格に対する圧力が勢いを強め、2011年3月以来の高い指数となった。しかし、調査回答企業は、今後12か月間の生産高増加を期待し、強気な姿勢を保った。楽観的な景況感は調査史上の最高値を記録した。

6月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™ (PMI) (製造業の全体的業況を表す指標) は、5月の53.0から52.4へ若干減少するも、5か月連続の業況改善となった。改善のペースは2月以来最も緩やかだった。

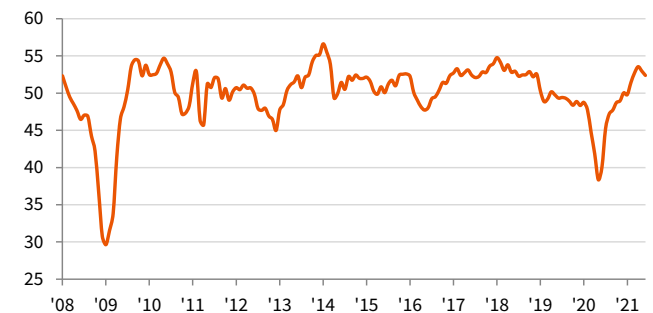
主要指数は前の月と比較して減少。生産高の増加の勢いが若干緩やかになったためだ。生産高の増加は6月で5か月連続に及ぶが、勢いは最も小幅で、全体的にはわずかにとどまった。調査回答企業は、新型コロナ各種制限措置が続いていること、そして顕著な原材料不足の影響のため幾分増加の勢いが阻まれたが、受注数拡大を受けて生産高が増加したとコメントした。

直近の調査期間では新規受注数も同様に小幅に増加した。伸び率は5月よりも弱まり、1月以来最も小幅だった。売上高の増加は総じて顧客の需要増加によるものであるが、サプライチェーンの納期長期化が全体的な増加の勢いを押しとどめた。新規輸出売上高も増加を示したが3月以来の低増加率となった。しかし増加の勢いは全体的には決して小さくはなかった。

一方6月は、雇用者数が若干ではあるが前月に勝る勢いで引き続き増加しており、2020年1月以来最も大幅となった。企業は需要が継続的に伸びており、必要生産能力が増加したことを指摘した。新規受注数の動きに合わせて、6月は受注残がさらに増えた。増加率は前回調査期間よりも上昇し、全体的には小幅だった。

(次頁に続く)

auじぶん銀行日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典: auじぶん銀行, IHS Markit

コメント

IHS Markitエコノミスト、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「6月のPMIデータは、第2四半期末時点で日本の製造業が持続的に回復していることを指摘した。しかし、生産高と新規受注数の成長の勢いが緩やかになったことを受けて、成長率は5月と比較して低下した。こうした状況により、製造業PMI主要指数は2月以来の最低値を記録することとなった。

製造業は、サプライチェーンが引き続き混乱している点を引き続き指摘。深刻な材料不足も相まって、原材料価格は急激に上昇した。企業の平均間接費は2011年3月以来最も速いペースで上昇しており、採算を確保するため企業は販売単価を引き上げ、一部を顧客に転嫁している。

しかし日本の製造業は6月、今後12か月で生産高が増加するだろうと楽観的な見方を示すコメントを寄せた。景況感は2012年7月以来の最高値を記録。コロナ禍の収束への期待が勢いに拍車をかけた。現在の動向は2021年の製造業生産高が8.8%成長になるだろうというIHS Markitの予想に一致しているが、コロナ禍で落ち込んだ生産高を完全に取り戻すものではないと考える。」

日本の製造業は第2四半期末時点、平均間接費が13か月連続して上昇していることを指摘した。購買価格は5月からさらに加速する勢いで値上がりしており、2011年3月以来最も大幅だった。購買価格の上昇には、原材料の高騰が要因に挙げられている。製造業はまた6月、平均間接費上昇分の一部を販売単価を通じて顧客に転嫁しようとしたことから、販売単価は3月以来最も速いペースで上昇した。

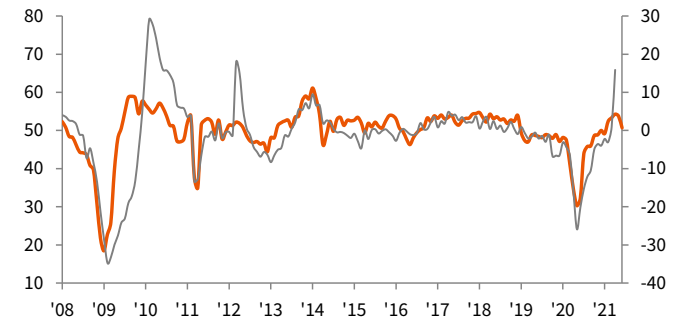
購買活動は6月、4か月連続で増加した。増加の勢いは前月よりも弱まったものの、全体的には堅調だった。日本の製造業は、原材料の大幅な不足により原料調達に苦慮している状況を指摘した。これを受けて、サプライヤー納期も2020年4月以来の大幅な悪化を記録することとなった。企業は原材料の在庫増強に努めたものの、調達可能な材料が不足状態であるため、困難であった。一方、製造業は完成品の既存在庫を使用し、受注に対応した。

今後1年間の生産高に対する企業の見通しは拡大し、2012年7月以来最高となった。コロナ禍の収束が需要を刺激し、市場の回復につながるだろうという期待によるものである。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典: auじぶん銀行, IHS Markit, 経産省

お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行
Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti
エコノミスト
IHS Markit
電話: +44 1344 328 370
usamah.bhatti@ihsmarkit.com

Joanna Vickers
コーポレートコミュニケーション
IHS Markit
電話: +44-207-260-2234
joanna.vickers@ihsmarkit.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、IHS Markitが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(デフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2021年6月のデータ収集期間: 2021年6月11~23日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はIHS Markitに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、IHS Markitから事前の承諾がない限り認められません。IHS Markitとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものではなく、またこれにもとづきとらえたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、IHS Markitとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

IHS Markitについて

IHS Markit(NYSE: INFO)は、世界の経済を促進する主要産業・市場のために必須情報・分析・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。次世代の情報・分析・ソリューションを企業、金融機関、各国政府に提供し、経営効率の改善および正しい情報に基づいた意思決定のための洞察に役立てていただいております。企業・政府機関の顧客数は50,000を超え、ここにはFortune Global 500企業の80パーセントと世界の大手金融機関も含まれます。

IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。その他全ての社名及び製品名はその各々の所有者の商標である可能性がありますのでご注意ください。© 2021 IHS Markit Ltd. 禁無断転載。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、joanna.vickers@ihsmarkit.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。